

今年度第11回目の「授産品バザー」は、3月21日（水）に「旧ゆめ広場」にて開催いたしました。今回のバザーでも先月に引き続きご来場者数の調査をいたしました。この日は119人の方に来場していただきました。

「授産品バザー」は4月以降も「旧ゆめ広場」にて開催することが決定いたしました。今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

3月21日のバザー風景です



この日の販売額は	「旧ゆめ広場」売り上げ：46,090円
	「協力店」売り上げ：6,340円
	<hr/>
	総売り上げ額：52,430円

「折尾隧道（風のトンネル）」撤去

県道199号線の水巻頃末と折尾の間のトンネル。種田山頭火が、「風のトンネルを越えて乞いはじめる」と詠んだことで、「通称：風のトンネル」と呼ばれていた。見た目はコンクリート造りだったが、実際は赤煉瓦造りのトンネルだった。

「市民トイレ」の供用

駅舎横のトイレの位置が仮改札口になることから、昨年撤去された「西鉄電車赤煉瓦アーチ3連高架橋」の跡地に建設された。5月供用開始予定。

「仮改札口と駅前広場」の供用

福北ゆたか線の高架が鹿児島本線の南側にできるため「折尾駅舎」が取壊され、それに伴い、東口と西口の改札口が、南側に移動し、仮改札口ができる。

（仮）西口改札：3月21日供用開始済み。（仮）東口改札：秋頃／駅舎横のトイレの位置。

（仮）北口改札：秋頃／4・5番ホームの階段の下、日本最古の立体交差の踏切付近。

「折尾駅舎」の解体

今年秋頃～24年内の予定。

当初、折尾駅舎のレプリカ復元は、鹿児島本線の南側に建設される予定だったが、現在、北口駅前広場に、おりお未来21協議会から右図のような外観が要望された。1階が駅施設、2階に「母子の図書館」と「生涯学習センター」が入る予定。



※「改札口」、本当に1ヶ所でいいの？

- 将来の折尾駅の改札口は、北側に1ヶ所のみ。
- 仮東口改札口は、駅南側の方にとって仮北口改札口が遠いことで、住民の要望で設置が決定。
- 西口も、西側の住民の要望で設置され、過半数以上の方が利用。（駅の北西にあると思われる日吉台は、博多方面の線路が西南に曲がっていることから、実際は駅の西南にある）
- 学校も駅南側が多く、駐輪駐車場は学園大通りの西側の高架下に設置予定。
- 一般の高架橋駅は、高架下に改札口があり両側の駅前広場で活用できるが、折尾駅舎は特殊で、筑豊本線があり扇状の駅施設である。今より不便になるような気がしてならない。 蒔田加代